

熊谷市公民館のあゆみ

年	月日	主 な 出 来 事	備 考
昭和21年	7月5日	文部次官通牒「公民館を市町村の自主的な運営をもって設置すべきである」通知を受け、市内に自主的に各町内会単位で、約50の公民館が設置。	
		玉井公民館が青空公民館として設立。	
昭和22年		元町公民館設立。	
昭和24年		鎌倉町公民館設立。	
	1月26日	公民館を主たる内容とする社会教育法が制定され、熊谷市は、熊谷市公民館長として小野島泰夫氏を初代専任公民館長として任命。	
	3月1日	肥塚公民館設立。	
	4月1日	銀座公民館設立。	
	6月2日	中西公民館が中西地区の集会所を借りて設立。	
	6月10日		社会教育法施行。
	8月15日	筑波公民館設立。	
昭和25年	1月	2代熊谷市公民館長として、日向茂重郎氏が就任。	
昭和26年	5月20日	優良公民館として、肥塚公民館が埼玉県の表彰受賞。	
	8月20日	熊谷市公民館長代理に小沢国平氏就任。	
	10月26日	3代熊谷市公民館長に小沢国平氏昇任。	
昭和27年	11月1日	優良公民館として、熊谷市公民館が埼玉県公民館協会より表彰。	熊谷市教育委員会発足。
昭和28年	4月1日	三尻公民館設立。	
	5月1日	荒川公民館が熊谷南小学校旧職員室の建物を利用して設立。	
	5月11日	熊谷市公民館連絡協議会創立。初代会長に小沢国平氏就任。	
	5月28日	肥塚公民館が全国大会で研究発表を行う。	
昭和29年	4月1日		熊谷市・中条村が合併。
	10月1日	太井公民館設立。	
	11月3日		熊谷市・奈良村・別府村・三尻村が合併し、人口10万人となる。
昭和30年	8月23日	熊谷市公民館連絡協議会を協会に改める。	熊谷市・吉岡村・星宮村・太井村が合併。
	11月30日	熊谷市公民館長小沢国平氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
昭和32年		宮町公民館設立。	
昭和33年	11月16日	第7回埼玉県公民館大会が富士見中学校体育館で行われる。	
昭和34年	9月1日	大原公民館設立。	
	10月7日	公民館建設促進連盟の設立準備会発足。	
	12月28日		文部省より「公民館の設置及び運営に関する基準」告示。
昭和35年	3月3日	公民館建設促進連盟結成式が、参加団体13団体で行われ、規約、役員、事業方針等が決定。	
	3月5日	公民館勤続功労者を囲む懇談会-公民館10年の歩みと今後の問題点について-開催。	
昭和36年	10月22日	公民館まつりが富士見中学校体育館で行われる。	
	12月	中央公民館建設準備会が発足。	
昭和37年	12月8日	市長・議長・教育長へ、公民館建設の促進と職員手当増額の請願実施。	
昭和38年	9月4日	市長・議長・教育長へ、公民館早期建設、公民館費1人100円、職員手当増額等について請願実施。	
昭和40年	2月9日	市長・議長・教育委員会へ施設予算について陳情が行われる。	
	11月1日	中央公民館竣工。	
	11月18日	公民館まつりが中央公民館で開催。	
昭和41年	3月31日	新三尻公民館竣工。	
昭和42年	3月31日	佐谷田公民館、別府公民館竣工。	
昭和43年	3月	妻沼公民館竣工。	
昭和44年	3月20日	奈良公民館竣工。	
昭和45年	2月15日	大原公民館竣工。	
	6月16日	玉井公民館が旧玉井村役場跡地に竣工。	
昭和46年	3月25日	久下公民館竣工。	
	7月7日	市街地公民館長会が公民館運営について協議。	
	6月12日	市教育委員会と公民館制度について懇談会を行う。	

昭和47年	7月21日	社会教育委員会議より「熊谷市における公民館の適正な配置と対象区域について」の答申が出される。	
	9月8日	中条農村センター内に中条公民館竣工。	
昭和48年	3月30日	大幡公民館竣工。	
昭和49年	4月1日	箱田公民館設立。	
	4月9日	石原公民館設立。	
	10月25日	大麻生公民館設立。	
昭和50年	6月10日	成田公民館竣工。	
昭和51年	6月30日	吉岡公民館竣工。	
昭和52年	5月1日	中央公民館へ社会教育指導員1名配置。	
昭和53年	3月30日	上石公民館竣工。	
	5月20日	荒川公民館竣工。	
昭和54年	3月30日	星宮公民館竣工。	
昭和54年	5月	荒川公民館長石川大助氏、県公連副会長就任。	
	7月9日	第1回市内館長研修会が「学級講座の実施状況について」と題し開催され、荒川公民館・成田公民館・大麻生公民館・銀座公民館が事例発表を行う。	
昭和55年	3月	大里公民館設立。	
	7月9日	第2回市内館長研修会が「学級講座の運営状況について」と題し開催され、三尻公民館・中西公民館・筑波公民館・佐谷田公民館が事例発表を行う。	
昭和56年	4月	妻沼中央公民館竣工。	
	7月10日	第3回市内館長研修会が「学級講座を主とした公民館運営について」と題し開催され、玉井公民館・大幡公民館・肥塚公民館・曙公民館が事例発表を行う。	
	7月28日	籠原公民館竣工。	
昭和57年	3月1日	新肥塚公民館竣工。	
	8月29日	曙町公民館火災。	
	9月22日	埼玉県公民館協会結成30周年記念公民館大会が埼玉会館大ホールで開催。	
昭和58年	4月	荒川地区より、基準公民館建設要望書が提出される。	
	5月10日	市公協30周年記念大会実行委員会全大会と各部長会議開催。	
	7月14日	市公協30周年記念誌「座談会」-公民館の今日的役割について-開催。	
	11月9日	市公協30周年記念大会作品展示会開催。	
	11月10日	市公協30周年記念大会式典、記念講演会、記念映画会開催。	
	11月11日	市公協30周年記念大会発表会開催。	
昭和59年	6月27日	「市公協だより」創刊に向けて広報編集委員会開催。	
	9月1日	「市公協だより」創刊号発行。	
昭和61年	2月	仮称荒川公民館建設計画発表される。	
	5月	石川大助荒川公民館長、県公連会長に就任。	
	11月3日	別府公民館長新井周作氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
	11月14日	荒川公民館長石川大助氏埼玉県教育功労者表彰受賞。	
昭和62年	7月1日	新荒川公民館竣工。	
	11月3日	佐谷田公民館長飛田広吉氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
	11月25日	荒川公民館長石川大助氏文部大臣表彰受賞。	
平成2年	4月	男沼公民館設立。	
	7月1日	桜木公民館開館。	
平成3年		長井公民館設立。	
平成4年	4月	妻沼中央公民館に「けやき大学」開校。	
	11月3日	佐谷田公民館長高橋亀之丞氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
平成5年	4月	小島公民館設立。	
平成7年	4月1日	本町公民館設立。 新堀公民館竣工。	
	11月3日	新堀公民館長柿沼定雄氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
	11月7日	「市長と公民館を語る会」初開催される。市長小林一夫氏。	
平成8年	3月	太田公民館竣工。	
	4月1日	江南公民館竣工。	
	11月3日	中条公民館長稲村滋治氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
平成9年	3月1・2日	復活第1回公民館まつりが開催。	
	11月3日	大麻生公民館長石垣太猷氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	

平成10年	4月	中央公民館に「直実市民大学」開校。	
	5月22日	大里公連総会が妻沼中央公民館で開催。	
平成11年	11月16日		社会教育法一部改正され、公民館運営審議会の必置が緩和される。
平成12年	5月	秦公民館設立。	
	9月6日	社会教育委員会より「本市における公民館運営審議会のありかた等について」答申が出される。	
平成13年	3月31日	各公民館の「運営審議会」廃止。	
	4月1日	熊谷市中央公民館に「熊谷市公民館運営審議会」を設置し、各公民館に「運営協議会」を設置。 中西公民館が、活動場所を熊谷東小学校のふれあいルームに変更。	
平成15年	6月6日		文部科学省より「公民館の設置及び運営に関する基準」告示。
	10月7日	「市公協50周年記念大会・公民館まつり」正副委員長・部長会議開催。	
平成16年	2月1日	『祝市政70周年 市公協50周年記念誌』刊行。	
	2月27～29日	市公協50周年記念大会・公民館まつり開催。	
	4月1日	新別府公民館竣工。	
平成17年	10月1日		熊谷市・妻沼町・大里町が合併。
平成18年	5月16日	新熊谷市誕生を機に、「熊谷市公民館連合会」発足。	
	8月1日	これまでの「市公協だより」を改称し「市公連だより」第1号発行。	
平成19年	2月13日		熊谷市に江南町が編入し、人口20万人となる。
平成21年	4月1日		熊谷市は特例市へ移行。
	10月1日	熊谷市メール配信サービス「メルくま」に中央公民館講座情報配信開始。	
平成22年	3月19日	熊谷市公民館運営審議会より「合併後の熊谷市における公民館のあり方と望ましい体制づくりについて」答申が提出される。	
平成24年	4月1日	「熊谷市公式Twitter」に中央公民館講座情報配信開始。	
	5月28・29日	第67期本因坊戦第2局が妻沼聖天山で開催される。事務局中央公民館。	
平成25年	4月	筑波公民館、銀座公民館、元町公民館、中西公民館を合併し、熊谷東公民館竣工。	
平成26年	3月4日	中央公民館が文部科学大臣より、第66回全国優良公民館表彰受賞。	
	3月27日		「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」施行。
	8月7日	熊谷市公民館運営審議会より「地域公民館の老朽化に対する対応と地域公民館のあるべき将来像」答申が出される。	
	10月16・17日	第36回全国公民館研究集会在全体会を熊谷会館、分科会を熊谷文化創造館さくらめいと他で開催され、桜木公民館が分科会で研究発表を行う。	
平成29年	4月28日		「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本計画」策定。
	6月8・9日	第72期本因坊戦第3局が妻沼聖天山で開催される。事務局中央公民館。	
	8月23日	「中央公民館公式Facebook」開始。	
	9月14日		「熊谷市公共施設白書」作成。
	10月20日	地域公民館ホームページ公開開始。	
	11月3日	大原公民館長新井弘一氏熊谷市文化功労者表彰受賞。	
	12月1日	「中央公民館だより」創刊号発行。	
平成30年	3月31日	鎌倉町公民館閉館。	
	10月21日	久下公民館「七福神巡り」が埼玉県教育ふれあい賞受賞。	
	12月28日		公民館併設の10出張所廃止。